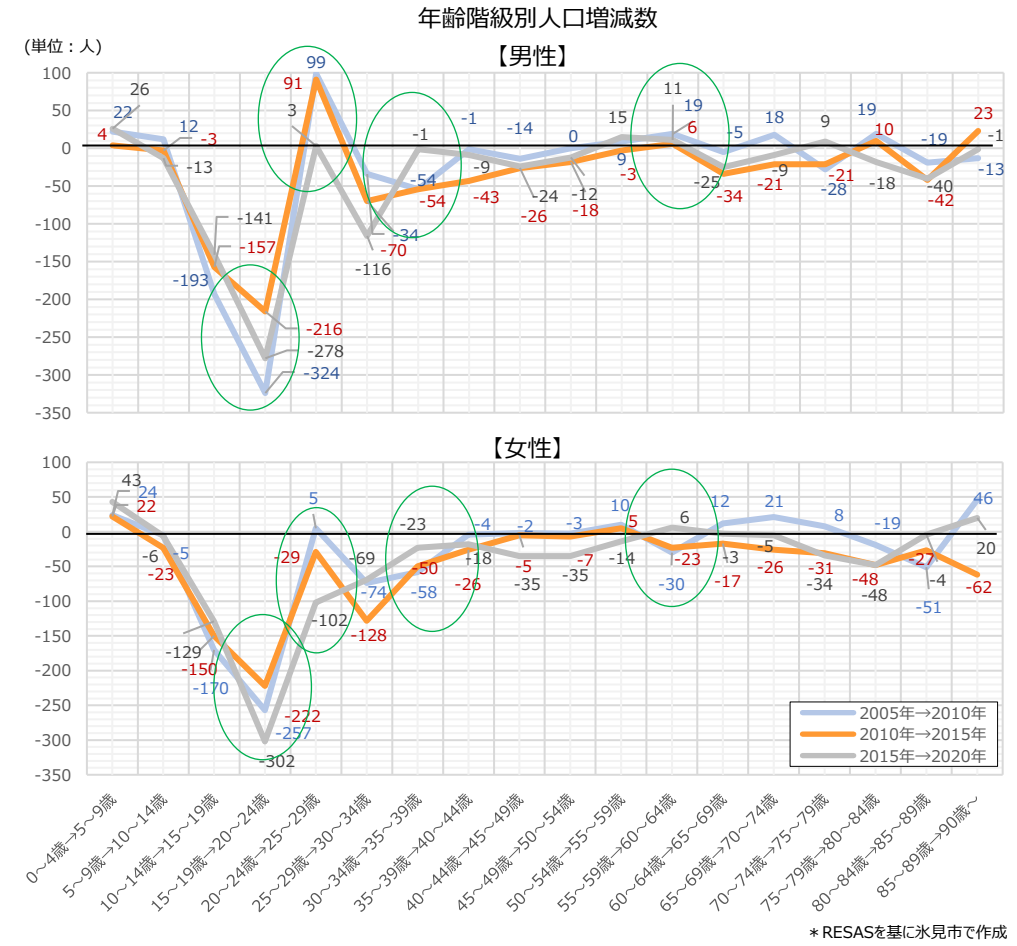
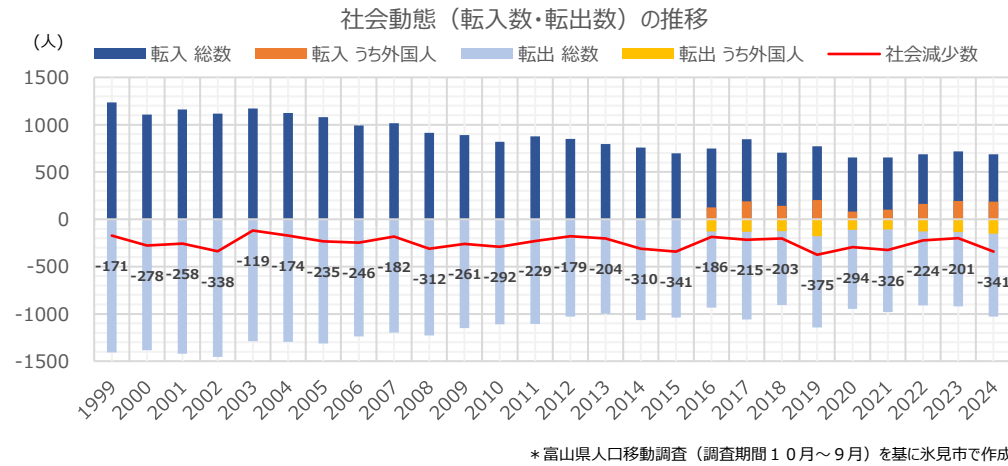
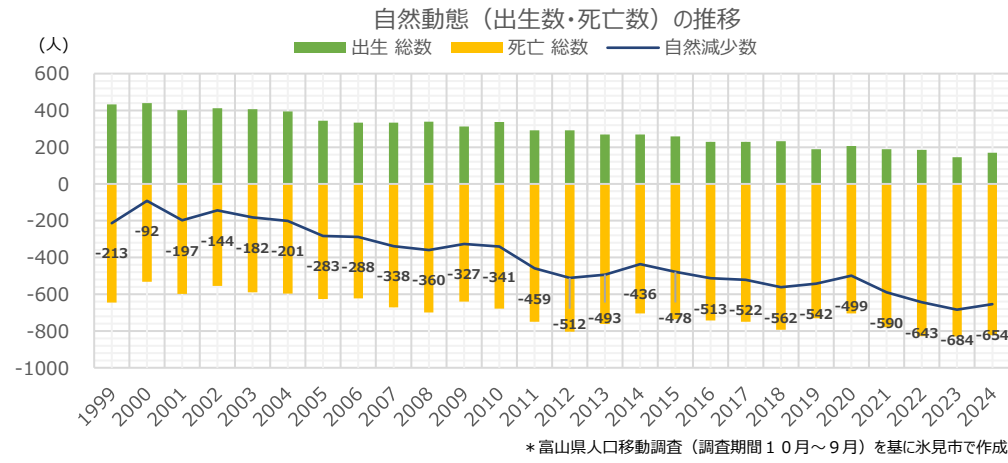
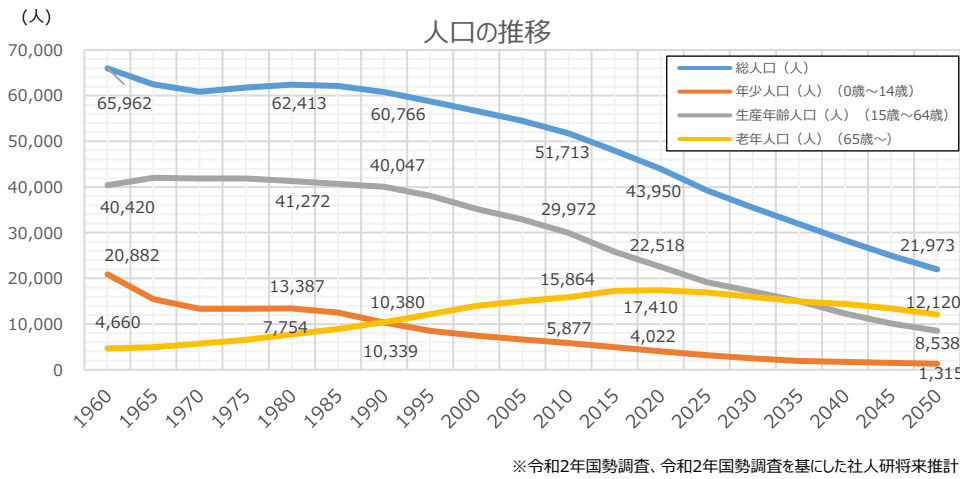


第3期氷見市人口ビジョン 概要版

1. 【現状】氷見市の人口

人口の現状分析

- 1970年代の第2次ベビーブームの影響で一時的に増加した時期はあるものの、減少の一途をたどっています。
- 年少人口（0～14歳）の減少が顕著である一方、老年人口（65歳以上）は増加を続けています。
- 自然動態は死亡数が出生数を大幅に上回り、減少傾向に歯止めがかかっていません。
- 社会動態も転出超過の状態が続いており、人口減少に与える影響が拡大しています。
- 年齢階級別の人口の増減では「15～19歳→20～24歳」のときに大きく人口が減少しています。その後、「20歳～24歳→25歳～29歳」になったときに、男性は人口増に転じますが、女性は一時的に人口増になる年はあるものの、人口減が続いています。



2. 【目標】人口の将来推計及び人口目標

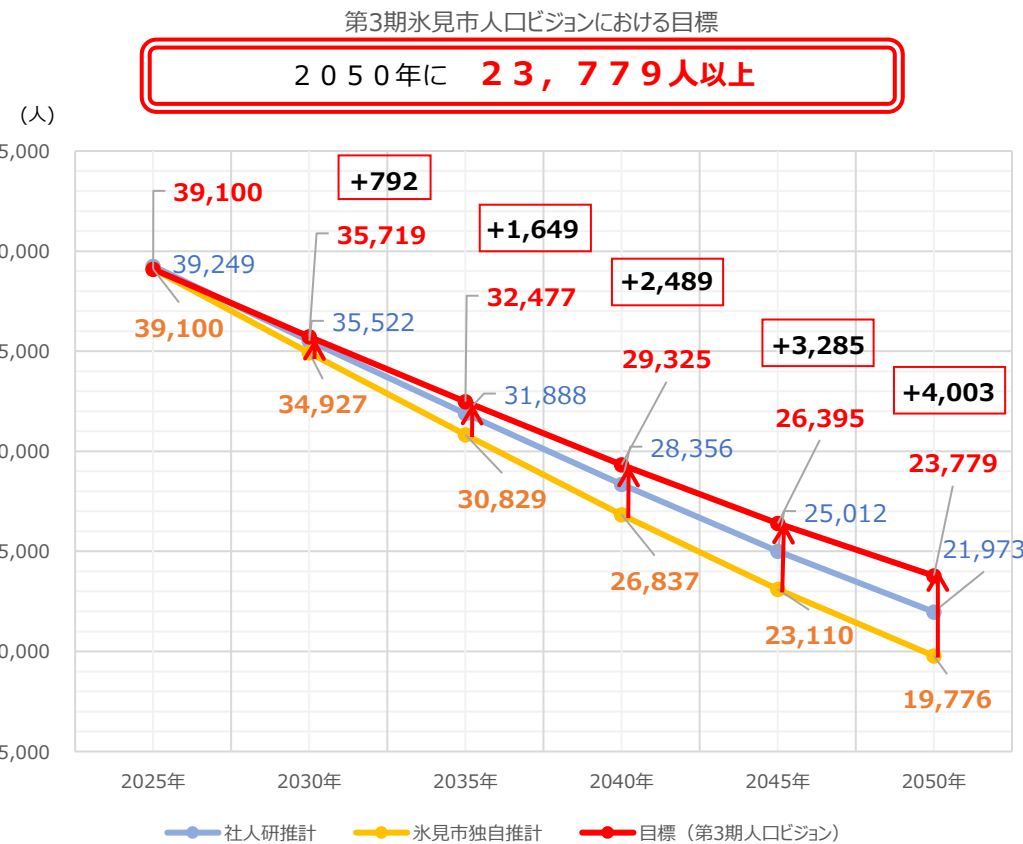
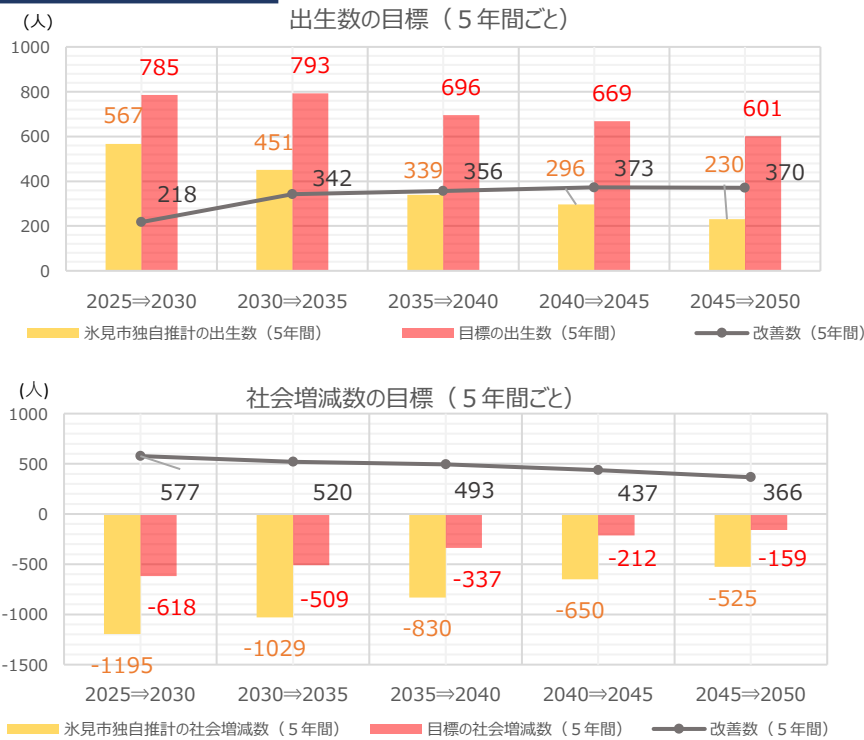
人口の将来推計

- 社人研の推計を基に令和7年（2025年）までの人口実績を反映するとともに、令和7年（2025年）の社会移動率を適用して推計（以下「氷見市独自推計」という。）
- 氷見市独自推計では、2050年には19,776人となり、2020年人口の約45%まで減少する見込となります。

総人口目標

- 第3期総合戦略の取組により、令和7年から令和11年までの出生数を785人確保し、社会減数を618人に抑制するとともに、その効果が継続することにより、2050年の総人口は23,779人と見込み、それ以上を目標値とします。

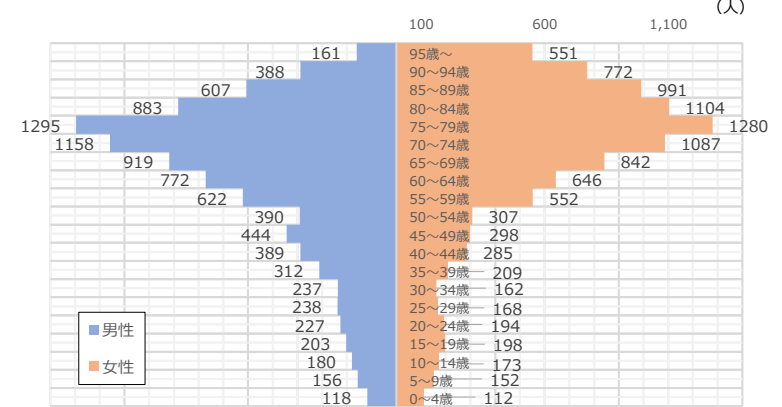
出生数・社会増減数の目標



【イメージ】2050年の人口構成

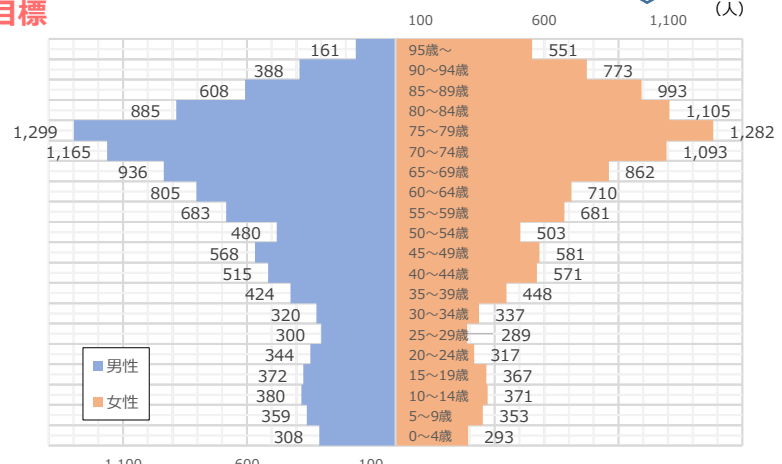
現状

2050年人口ピラミッド（氷見市独自推計）



目標

2050年人口ピラミッド（人口目標）



戦略の推進